

粉体白度計 C-130

試料サンプリングかんたんガイド

このガイドでは、粉体白度計C-130での測定の際に行う、試料サンプリング(試料採取)方法について、主な手順を簡易的に説明します。

作業の前に必ず、取扱説明書のP.9「6.測定」をお読みください。

1 試料を盛る。

試料皿に、試料を山盛りに入れます。



山盛りにする



少ない

採取する試料の量が少ないと、きれいな測定面を作ることができないため、正確な測定ができません。

2 試料を押し付ける。

付属のヘラが試料皿のふちに当たるまで、試料をしっかりと上から押さえつけます。



試料皿の側面や底面などに試料が付着している場合は、付属のハケで掃除してください。
試料が付着したまま測定すると、試料皿が傾くなどして測定精度に影響が出る場合があります。



掃除は、ヘラで試料皿を押さえつけている時に行うと、測定面を乱すことなく、きれいに行えます。

3 きれいな面を作る。

押し付けたヘラに力を入れ、試料皿のふちに沿わせ、平行を保ちながら手前に引きます。



平らでなめらか



凹凸が出ている

試料表面に亀裂や凹凸があると、正確な測定ができません。
ヘラを使用し、できるだけ平らで滑らかな面を作ってください。

試料が空気に触れると、吸湿または乾燥し、測定値が変化します。サンプリング後はできるだけ速やかに次の作業を行ってください。(次の作業は、取扱説明書P.10～を参照してください。)